

君津ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日
12:30PM～13:30PM
例会場 ハミルトンホテル上総
Tel:0120-51-8365事務局
〒299-1144君津市東坂田1-3-3-304
Tel:0439-52-8882
Fax:0439-27-0622

Vol.7 No.2190 2022.8.29

令和4年8月 第4例会 曇

開 始 点 鐘 武田富士子会長
R ソ ン グ 手に手つないで
四つのテスト 大川 裕士幹事

【出席報告】 免除者0名 休会0名

例会数	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2190	55	55	42	13	76.36%
2189	55	55	44	11	80.00%
前々回の修正	メイクアップ	0名			80.35%

(敬称略)

会 長 挨 拶

武田富士子 会長

ロータリーの友8月号の縦書き13ページに卓話の泉のページがありました。笑顔のトレーニングと題した浅井千華子さんのお話です。とても共感しました。対人コミュニケーションにおいて、人は言葉や話の内容だけでなく声や表情、身ぶり、手ぶりの距離感や間合いといった、いわゆる「非言語」の部分でメッセージを受取り発信します。「大丈夫」と言っている人の表情が曇っていると不安になるように、この非言語的コミュニケーションは言葉以上に意味や感情を伝える重要なツールと言われます。言語によるコミュニケーションも重要ですが、非言語コミュニケーションも重要で特に笑顔や表情を強化することをお勧めします。とありました。

笑顔の重要性についてはパナソニックの創業者松下幸之助氏も「笑顔は仕事の潤滑油」という言葉を残しているほど。ただし、笑顔とはただ笑えばいいというものではなく、さまざまな感情が表れた笑顔は「本物の笑顔」にはなりません。とあり、「本物の笑顔」には心を磨くのも大切ですが、表情筋・笑顔のトレーニングがお勧めとありました。皆様も読んでみて下さい。

私も、笑顔は得意の方だと自負していましたが、現在うまく笑えていない自分が居ることを自覚しています。現況の厳しさを一つ一つ乗り切るし

かないと解っています。心のゆとりが出来ずにいます。でも皆さんに会うと今のこの位置にいて会長職を仰せつかり「頑張らなくては!」という元気を頂けます。皆さんの笑顔は素晴らしい。なんせこのコロナ禍の例会出席率ZOOM参加者含みますが80%越が続いています。会場のコロナ対策の安心安全な取り組みが万全であることに感謝です。今後も宜しくお願い致します。

報 告

- 8月20日(土)に地区の奉仕プロジェクトセミナーがZOOMで開始されました。地区委員の佐々木会員が、会場(TKPガーデンシティ千葉)に出席されました。お疲れ様でした。後程報告をお願いします。
- 8月27日(土)に地区の米山記念奨学委員長セミナーがZOOMで開始されました。当クラブからは米山記念奨学委員会の谷委員長が出席されました。お疲れ様でした。後程報告をお願いします。

幹 事 報 告

大川 裕士幹事

〈配布物〉

- 例会プログラム
- 卓話の資料

〈報 告〉

- 9月1日(木)に第5グループ会長幹事会が開催されます。
場所：東京ベイプラザホテル2階 カサブランカ
時間：15時～17時
出席：武田会長・大川幹事
宜しくお願いします。
- 次回例会終了前、11時30分より第3回理事会を開催致します。

理事の方は、ご出席下さいますようお願い致します。

場所：ハミルトンホテル上総 3階

〈回 覧〉

1. 君津RC週報
2. 第5グループ週報

委員会報告

2790地区「奉仕プロジェクトセミナー報告」

佐々木 昭博 副委員長

8月20日(土)にTKPガーデンシティ千葉で行われました「奉仕プロジェクトセミナー」に当クラブの奉仕プロジェクト委員及び地区の社会奉仕委員として参加して参りました。ハイブリッド形式で行われ、リアルに参加者は45名程度、ZOOM参加が約100名。プログラムとして3名の方に講演頂きました。



第一部の講演は千葉県環境生活部 次長の石崎勝己氏から「千葉県におけるCO2削減の現状と対策」というテーマでした。千葉県は令和3年2月の定例県議会において「2050年二酸化炭素排出実績ゼロ宣言」を行い、カーボンニュートラルを加速度的に進める為に、温暖化推進課の新設や千葉県カーボンニュートラル推進本部を設置するなどし、積極的に温室効果ガスの削減に取り組んでいるそうです。千葉県の温室効果ガス排出量の内訳の特徴として、やはり京葉工業地帯に多く存在する産業部門の排出量が56.8%を占め、全国平均の産業部門34.5%と比べてかなり多いので、この分野の削減努力が重要になるそうです。また、中小企業や個人で脱炭素に関する設備投資をする際の補助金制度や融資制度も取り揃えているので積極的に利用して欲しいとの事でしたので興味のある方は、千葉県のHPで検索してみてください。

第2部の講演は、株式会社ワンプラネットカフェ代表取締役エクベリ聡子氏による「サステナビリティとロータリーの重点分野」というテーマで、ロータリーの7つの重点分野とSDGsの17項目の共通点についての解説が有りました。

第3部の講演は、東日本大震災の被災者である、ロータリー希望の風奨学生、上野利恵子さんによる「東日本大震災と私」というテーマで、震災が起きた当時の状況や気持ちや震災から11年間の思いなどを飾りのないありのままの言葉で語ってくれました。当時、上野さんは11歳、岩手県の山田町に住んでいる時に東日本大震災の被害にあったそうです。算数の授業中に大きな

揺れと共に「ギシギシ、バリバリ」と、聞いた事もない音が響き、直ぐに机の下に潜ったそうです。その後、大地震の後は津波が来ると教えられていたので裏山の高台に避難されましたが、その時はまだ事の重大さが分かっておらず街に大津波が来た事、火災が凄かった事などは後から聞いたそうです。その後、迎えに来てくれた母親から「お父さんが見当たらないの」と言われ、少し状況も落ち着いてからお父さんを探しまわったが見つからず、念の為遺体安置所にも見に行ったがいなかったそうです。後で人から教えてもらった情報によると、建設会社の社長だったお父さんは、大津波からの避難途中に、従業員の奥さんとお子さんを助けようとして、一緒に津波に飲み込まれてしまったそうです。結局未だにお父さんのご遺体は発見されておらず、慰霊碑には名前が刻まれています。遺体を見ていないからか気持ちの整理が付かない状況や、本当にお父さんはいたのかな〜?というフワフワした気持ちが続いたそうです。

また、被害の有る無しによって町内でも変な差別みたいな雰囲気も感じてしまい、居づらくなり15歳の時にお母さんと一緒に青森に引っ越してしまいました。しかし、引っ越して直ぐお母さんがくも膜下出血で倒れ亡くなってしまい、それからはおばさんに面倒を見て貰い助けてもらったそうです。両親もおらず経済的に困窮している中で、高校・大学に進学する際には「ロータリー希望の風奨学金」を始め、多くのご支援を頂いたおかげで大学に進む事も出来て本当に感謝しているそうです。

また、被災地となった街は11年で大分復興も進んでいます。被災した人達の心はいつまでも癒される事は無いので、少しでも支援してもらえたら有難いです、との事でした。

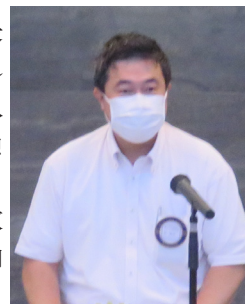
現在、ウクライナ戦争や台湾問題など新しい事が目まぐるしく起きておりますが、同じ日本において未だ解決されていない東日本大震災の復興支援や福島第一原発の問題など、風化させずに取り組んで行かないといけないと改めて感じました。

米山記念奨学会委員会

「米山記念奨学会委員長セミナー報告」

谷 浩司 委員長

米山記念奨学会委員会委員長の谷 浩司です。27日に開催されました2022学年度公益財団法人ロータリー米山記念奨学会委員会の2022-23クラブ委員長セミナーに参加しましたので報告致します。小倉ガバナーより米山



奨学生達は母国、家族から離れて来ているので、クラブの会員一人一人が家族のように接してほしいとおっしゃっていました。

また、米山記念奨学会 評議員の宇佐美様より、米山記念奨学生の未来は私達会員の協力で成り立っているところのお話を頂きました。多くの奨学生が自己紹介しましたが、ウニバト君も緊張しながらも自己紹介をしていました。

卓話にはトーゴ共和国より留学生として新潟県の新発田城南RCが世話クラブのアドゥアヨム アヘゴ・アクエビ君を講師に迎えました。彼の母国では義肢装具を必要としている人が大勢いますが、経済上なかなか購入する事が出来ないとの事、そこで日本が義肢装具ではトップクラスという事で留学してきました。今では、卒業して企業の研究員として働いていますが、パラリンピックの通訳ボランティアとして参加しておりました。夢は自分が作った義足でパラリンピックの選手が活躍する事だそうです。残念ながら今回のパラリンピックではコロナの影響で参加が出来なかったそうですが、現在はパリのパラリンピックを目指して練習しているそうです。しかし、この日本で頑張れるのも奨学金だけでなく、夢を信じてくれている皆さんの応援が何よりも力になり“千金に値する”と話されていました。

米山記念奨学会においては、日本と留学生の母国との橋渡しはもとより、グローバルに頑張る留学生を出来る限り多く応援していきたいと思っていますので、目標金額は会員の年間15,000円となっておりますが、毎月1,000円でも寄付して頂けると多くの留学生を迎える事が出来るとの事ですので、改めてご協力をお願い致します。

会員卓話

「土用の丑の日「ウナギ」」

野中慎太郎 会員

皆さん、こんにちは!京葉銀行の野中です。卓話のお話を頂いて何をお話させて頂こうか非常に悩みました。銀行員なので、堅いお話で今後の金利や日本経済についてやSDGsについてなどと悩みましたが、お話を頂いた時に土用の丑の日の広告を連日見っていたので、今日は「土用 丑の日 ウナギ」についてお話をさせて頂きます。また、今日のお話は私が成田支店時代に多くの鰻屋さんを担当させて頂いていた時のお話も混ぜて卓話とさせて頂きます。

そもそも土用の丑の日とは何の日でしょうか?まず



は土用の丑の日についてご説明致します。土用の丑の日とは、「土用」という字は土の用と書きますが、「土用」とは立夏、立秋、立冬、立春 直前の18日間の「期間」を示す言葉です。そして、昔の暦では日にちを十二支(子、丑、寅、卯…)で数えていました。十二支は干支のイメージから「今年は丑年、来年は寅年」といった風に、1年単位で変わると思われがちです。しかし実際には1日単位でも決められています。つまり、「土用の丑の日」とは土用の期間に訪れる丑の日を指しております。そういった理由で、土用は毎年違うので、土用の丑の日も毎年変わります。

更に土用の丑の日と言えば夏のイメージが強いかもしれませんが、立夏、立秋、立冬、立春 直前の18日間を指す言葉ですので、年に何回か来ると感じているのは、そういう理由からです。いずれにしても、「土用の丑の日」は季節の変わり目といえるのでないでしょうか?ちなみに、土用の丑の日と土曜日とは全くの無関係です。今年の「土用の丑の日」は次が10月27日が最後となります。(ちなみに、今年の夏場は7月23日と8月4日の2回「土用 丑の日」がありました。これは、先程お話しした様に土用が約18日間なのに対し丑の日は12日周期で訪れる為です。)

私自身、今まで何の疑いや疑問を持たず「土用丑の日」だ!ウナギでも食べるかと考えていましたが、今回卓話に際し色々な事に深堀して調べてみるのは勉強になるな!と感じております。

続いて「土用の丑の日にウナギを食べる意味」について、お話致します。ウナギを食べる習慣が一般に広まったのは、1700年代後半の江戸時代となります。実はウナギに脂がのる旬は夏ではなく、冬である事は知っている方が多いかもしれませんが、旬は夏ではなかったのです。(ウナギは冬の厳しい寒さを耐え忍ぶ為に脂を沢山蓄えるので、冬の方が身も柔らかく美味しくなると言われております。)

一説によると「夏に売上が落ちる」という鰻屋から相談を受けた蘭学者の平賀源内が店先に「本日丑の日」「土用の丑の日 ウナギの日」「食すれば夏負けする事なし」という看板を立てたら大盛況した事で、他の鰻屋も真似をする様になったといわれています。

土用は季節の変わり目の為、体調を崩しやすい時期です。中でも夏は暑さによる夏バテや食欲不振などにより体調を崩しやすくなります。また、今とは生活様式が異なり、冷蔵保存設備もなかったので雑菌なども繁殖し易くなり、疫病が流行し易い時期でもありました。そういった背景からも夏の土用が重要視される様になったとされています。夏の土用に、栄養があり精の付くウナギを食べて夏バテ防止をしようという風習が習慣化したものが現在の流れとなりました。

また、ウナギは丑の日の「う」が付く食べ物だからウナギを食べるとい説も実はあります。土用の丑の

日に地方によっては、「梅干し、うどん、牛肉、馬肉、瓜」等を食べる地域がある事も知っておいて下さい。

関東と関西ではウナギの調理方法が違う

まずさばく際、関東は背開き、関西は腹開きとなります。なぜ違うのか調べてみましたが、関東は武士の文化が強く切腹を嫌った事、関西は商人の文化が強く腹を切って話するのが好まれたからであると言われております。そして関東では一度焼いてから、蒸した後にタレをつけて焼き上げるのに対し、関西は蒸さずにそのままタレをつけて焼くという違いがあるそうです。18世紀頃まではウナギは焼いた後に塩や味噌を付けて食べられていました。現在の様な蒲焼の始まりは18世紀後半に銚子市にあるヒゲタ醤油が「濃口醤油」を作り、それをウナギの蒲焼に使ってから広まったと言われております。

日本国内のウナギの蒲焼消費量の都道府県ランキング

1位滋賀県 2位宮崎県 3位大阪府 4位石川県
5位京都府 6位佐賀県 7位静岡県 8位東京都
9位栃木県 10位鹿児島県

ちなみに千葉県は29位となります。逆に消費量の少ない都道府県は山形県、福井県でありました。消費量ランキングは総務省統計局の直近データで発表させて頂きました。

世界のウナギの漁獲量を見てみると…

1位が断トツの中国25万t、2位が日本の1.6万t、3位が韓国、他はインドネシア、オランダ、台湾、フィリピンと続くようです。中国のウナギの漁獲量数を見ると2位の日本の漁獲量の15倍という事が解ります。

ウナギの種類や味の違い

現在、日本国内で獲れるウナギは主にニホンウナギと大ウナギの2種類ですが、世界を見渡せばウナギは19種類も存在しております。

ニホンウナギについてですが、細長い円筒形です。目が小さく腹ビレがありません。暗褐色の背に、尾まで繋がっている背びれ。淡い黄白色(おうはくしょく)の腹をしています。ヨーロッパの太くて短いウナギに比べると、ニホンウナギは細長い印象です。乱獲により天然のニホンウナギは絶滅危惧種に指定されており、種の保全に向けて様々な取組みがなされています。オオウナギは名前の通りウナギよりも大きく、最大で全長2m、体重20kgにも達します。ただ、日本ウナギと違って獲れる数が少ない上に味も劣るとされ、食用としては一般に流通はされておられません。

ヨーロッパウナギはヨーロッパに分布する唯一のウナギです。戦後は日本にも大量輸入され、養殖が行われました。外見は日本ウナギとほとんど変わらず細長

い円筒形の体をしています。味もほとんど変わりませんが、日本ウナギよりも脂ののりがいい傾向にあるそうです。ちなみに、ヨーロッパでは、ウナギはフライにしたり、オリーブオイルでソテーしたり、ワインで煮込んだり、サンドイッチの具にしたり、ウナギの稚魚であるシラスウナギだけをアヒージョにして食べる食べ方も人気があるそうです。

電気ウナギについて

ところで、ウナギには様々なウナギがいると説明させて頂きましたが、中でも個性を放っているのは電気を放出する事が出来る電気ウナギです。電気を発する魚は何種類かいるのですが、その中でも特に有名なものの1つとなっております(別名:シビレウナギ)。見た目が細長い円筒形である事からウナギと名が付いていますが、体の構造や生活体系は異なり、生物学的にはウナギとは縁遠く、むしろ鯉に近いとされています。南アメリカのアマゾン川やオリノコ川流域の濁った小川や沼に生息し、全長約2m、体重20kgを超える程の成長をします。肉食系で主に魚を食べていますが、両生類や鳥、小型の哺乳類などを食べる事もあるそうです。危険を感じた時や獲物を襲うときに放電して500V～800Vの電圧の電気を発生させます。一般の家庭用コンセントが100Vである事を考えると非常に高い電圧である事がわかります。では、電気ウナギは食べられるのか?という回答についてですが、「食べられない訳ではない」という感じだそうです。電気ウナギの身には筋肉が少なく、そのほとんどが脂身であるそうです。脂っこすぎて苦手という人もいれば、角煮の様で美味しいという方もいるとの事でした。電気ウナギは分厚い脂肪が絶縁体の役割を果たしているので、電気を放出しても自分へのダメージが最小限となっております。

謎だらけのウナギの生態について

ニホンウナギの生態については、まだわからない事が多く、特に産卵場所については長年謎でした。しかし、2006年頃から日本の研究者チームが本格的な調査を始め、2009年にとうとうその場所を日本から2000km以上離れた、太平洋のマリアナ海域だと特定致しました。ここで卵が孵化し、透明な仔魚(しぎょ)になります。仔魚は太平洋を回遊して、稚魚へと変態し東アジア近海へと向かいます。この「稚魚をシラスウナギ」と呼び、日本の他に台湾、韓国、中国などに生息していきます。シラスウナギは透明で、日本には鹿児島をはじめ宮崎、高知、静岡等の川を遡上します。シラスウナギは川を遡上すると、腹が黄白色の「黄ウナギ」となり、川や湖で5～10年成長すると体が黒ずみ、腹が銀色をした「銀ウナギ」に変わります。この銀ウナギが私達が食べている、おなじみのウナギです。成長したウナギは川を下り、太平洋を回遊して再びマリアナ海域の産

卵場所へ向かうと考えられておりますが、この過程はまだよくわかっていないのが現状です。実は日本人が食べているウナギの99%が養殖ウナギとなります。本当の天然物は1%程度しかないと言われています。

成田とウナギ

私はウナギで有名な成田地区である成田支店に在籍していた頃に多くのウナギ屋さんを担当していた事があります。その時の話を交えて成田のウナギについて説明させていただきます。皆さんもご存知の成田駅から距離にして800m、徒歩15分程の成田山表参道には、ウナギを出す料理店や旅館が60軒連なります。昔から伝統の味と風情とおもてなしを競いあっております。今でも表参道には情緒あふれる建物が並び、江戸時代の面影を色濃く残しています。

ウナギの歴史を紐解くと、縄文時代に遡るとも言われ、万葉集にも歌われております。庶民が食すようになったのは、先ほどお話しした様に蒲焼が発祥した江戸時代。成田市の西方に広がる印旛沼でもウナギが良く採れていた事から、新勝寺へ参拝する「成田詣」にやってきた参拝客を古くから栄養価の高いウナギでもてなしていたそうです。成田のウナギには古い由来があります。現代の様に養殖が盛んになり、どこでもウナギが手に入る遙か前からこの地域に住む人達は自然の恵みの宝庫である印旛沼で採れた川魚料理を食べていました。元禄時代になると市民生活が豊かになり、成田詣と言われる様に江戸から行ける行楽地として成田は繁栄しました。門前町の旅館では、江戸でウナギの人气が高まるに連れて夏場のウナギ料理を名物として、お客様をおもてなしし喜ばれておりました。

当時の成田詣は徒歩の旅です。長い旅路の疲れにはウナギ料理を食べて元気になって頂こう!という成田の先人達の想いを感じます。この名残で、成田山周辺を中心に成田市内にはウナギ料理を出すお店が今でも数多くあるのです。「私が成田支店時代には一生分のウナギを食べた」という記憶がありますが、お勧めの3店舗をご紹介します。このお勧めはあくまで、私のお勧めとなります。

まず1店舗目がTVなどでも有名な「川豊」です。創業は明治43年で参道の中で1番並ぶウナギ屋さんとなります。築101年という木造の建物は昔は旅籠(はたご)として利用されておりました。参道沿いでウナギを捌く光景は非常に風情厚いものです。ウナギ捌きで50年以上の職人がおり、腕利きの親方が次々に熟練の技でウナギを捌いて、その周辺で若手の職人達が串打ちを行っています。平日でも400匹、お祭りの時や正月などになると1日で平日の3倍近くも捌いている様です。

お勧め2店舗目は成田山新勝寺の総門脇にある「駿河屋」さんであります。江戸時代創業の老舗で旅館、割烹を経てウナギ料理専門店となりました。家伝のた

れに用いられているのは、下総の醤油と三河の白本みりん、氷砂糖など、こだわりの調味料で作られたタレは風味豊かです。また、毎日汲んでくる地元の名水「横芝小堤(おんづみ)の名水」でコシヒカリを炊いているそうです。駿河屋では蒲焼もいいですが、私のお勧めである白焼きを食べてみて下さい。

最後に私が一押しの3店舗目が「菊屋」です。菊屋の屋号は新勝寺から拝領致しました菊の御紋に由来しております。成田山新勝寺は天慶の乱(西暦940年)の折に使命により建立されて以来、寺紋に宮家の菊の御紋の利用を許されているお寺です。当時は代々、その新勝寺の門前にて飲食業を営み、江戸時代中頃に至り、新勝寺よりご縁を頂きその御紋を拝領する運びとなったそうです。菊屋さんは「産地証明書」付のウナギを日々仕入して、産地証明書は毎日、店頭に掲示してあるという成田地区では珍しいお店です。私が菊屋のウナギが好きなのは、菊屋の蒲焼ウナギの特徴である「ふわっと、ぱりっと、広がる食感と鮮烈な風味、粘りのあるお米の選別」という職人の強い気質などが好きな理由です。メニューにはないのですが、オリーブの白焼きは一生忘れられない程の美味しかった記憶が大変強く残っております。アメリカの映画俳優であるトムクルーズさんは、菊屋のウナギが好きで今年の5月に映画「トップガン」の披露でプライベートジェットで日本来日した際にウナギの器ごと、アメリカに持って帰ったという話があるのですが、これは毎回来日毎に器ごと持って帰るのが恒例となっている様です。

君津地区では、鹿野山の麓(ふもと)にある、「津多屋」さんがお気に入りです。君津に転勤してからはコロナ時期という事もあり、食の食べ歩きが出来ていませんので、君津ロータリーの方々に是非、お勧めがあれば教えて頂ければ幸いです。

甚だ簡単な卓話となりましたが、ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

武田富士子	コロナが4市で200人越えて感染が報告されています。皆様、本当に気をつけましょうね。無症状の人達が多く、いっそう気をつけましょう。なのにこの出席率、君津RCは素晴らしいですね。
大川 裕士	茂田委員長、青少年奉仕委員会の皆様、ウェルカムオリエンテーション出席ありがとうございました。君津RCにしても、業界にしても濃厚接触者、感染者を身近なところで耳にします。感染予防を徹底していきま

大浦 芳弘	す。 先日、墓参のため京都の実家に帰省した時の事です。左が山、右が川に向かったの斜面という田舎道を車で走っていた際、突然の大きな音と衝撃、何事かと車を止めてバックミラーを見ると小鹿がピョンピョン、車を降りて確認すると運転席のドアに小さなへこみ。後で近所の方に聞くと、最近は猿より鹿が圧倒的に多くなったとの事、天然記念物の鹿がいる奈良の近くだからという訳ではないでしょうが、害獣もいろいろ変化しているようです。ちなみに、天然記念物の鹿を車で轢いても故意でなければ文化財保護法などの罪には問われません。	川村 優子	野中会員、卓話ありがとうございます。
岡野 祐	本日席替抽選当たりました。残り少ない運を使ってしまいました。	宮本 茂一	夏休み、久しぶりに家族が集まりました。大人9人、子供5人、合計14人、大騒ぎでした!!コロナの心配もしましたが、全員無事でした。
荒井潤一郎	少し涼しいですが、体調管理を怠らず元気で過ごしたいです。	秋山 大輔	野中会員、為になる卓話ありがとうございます。
野中慎太郎	本日卓話で「土用 丑の日 ウナギ」についての話もさせて頂きました。資料も作っていてウナギを食べたくなってきております。	秋元ゆかり	皆様こんにちは。野中会員、会員卓話ありがとうございます。ウナギ、美味しいですね。
早見 秀一	委員会報告、佐々木会員、谷委員長、報告お疲れ様でした。会員卓話、野中会員ありがとうございます。ウナギが食べなくなりました。ごちそう様です。	中野 賢二	もう百数十回とクジを引いているのにまたハズレでした。今日は所用の為、途中退席させて頂きますが、クジがハズレて不貞腐れて帰る訳ではありません。
藤田 章博	青少年奉仕委員会の皆様、周西小の草取りお疲れ様でした!野中会員、会員卓話ありがとうございます!	佐々木昭博	本日奉仕プロジェクトセミナーの報告をさせて頂きました。野中会員、卓話ありがとうございます。
小幡 倅	昨日、10月に開催の郡ダム水上スキー大会の準備の為、草刈り作業に参加しました。今年は草の伸びも良く作業の成果も大きく感じました。雨も降らなく最高の奉仕作業でした。	倉繁 裕	昨日から久々に気温が下がってエアコンに頼らず過ごす事が出来ています。ただ、9月は予報によると気温高め、雨も多め、台風が5つ想定されるそうです。地球温暖化による集中豪雨にならない事を願っています。
永嶌 嘉嗣	来週1週間遅めの夏休みで病院には出勤しません。宜しくお願いします。	常住 賢二	依然としてコロナの終息が見えませんがね。医療従事者の皆様に本当に感謝です。
原田 健夫	肌寒く感じられる陽気ですね。花壇の花もちょっと元気なさげな状態です。本日は野中会員、会員卓話ありがとうございます。	鈴木 荘一	稲刈りが始まりました。秋の知らせを感じます。
秋元 直樹	佐々木会員、谷会員、委員会報告ありがとうございます。野中会員、貴重な卓話ありがとうございます。	篠塚 知美	野中会員、貴重な卓話ありがとうございます。
		藤代 公成	野中会員、貴重な卓話ありがとうございます。
		山内 雅夫	バドミントン世界選手権では、女子シングルの山口茜さん、混合ダブルスの"ワタガシ"ペアは、周囲の期待を背負い、その上で結果を出しました。選手の皆さんの努力、精神力には感服させられました。我々も頑張っている選手から元気を貰い、活動していかなければなりませんね。
		隈元 雅博	野中さん、貴重な卓話をありがとうございます。これからもロータリー活動を頑張ります!
		大森 俊介	野中さん本日は卓話ありがとうございます。大変勉強になりました。
		伊藤 彰	長らくRCに参加出来ない間に夏が終わってしまった感じです。RC活

動も少しずつ戻していきたいと思いますので、今後とも宜しくお願いします。

木内 高茂

野中会員、卓話お疲れ様でした。ウナギ食べたくなりました。今夜は「すき家」に行こうと思います。

黒岩 靖之

昨日、乗鞍ヒルクライム(自転車)に初参加してきました。雨模様で憂鬱の中のスタートでしたが、次第に雨もやみ、徐々に霧も晴れてきて良かったのですが、残り5キロ弱、森林限界に差し掛かった頃から急に足が重くなり全然進まなくなりました。ヘトヘトになりながら何とかゴールしました。疲れしました。20キロと富士ヒルクライムより距離が短いので少し甘く見ていた事を反省。でも、ゴール地点からの雄大な景色が見れた事で疲れも少しは癒されました。

谷 浩司

27日に米山記念奨学委員長セミナーに参加しました。多くの奨学生が参加しており、ウニバト君も登壇し元気に挨拶していました。今後とも協力をお願い致します。

高島 俊治

野中会員、卓話ご苦労様です。「ウナギ」の話題、夏にぴったりと思いました。今年は当会で食べただけで、今回の卓話を機に家族で食事に行きたいと思います。ありがとうございました。

